

今でも、ぎゅうぎゅうなのに!

保育所の子ども一人当たり面積を せまくしないで!

戦後60年間改善されない「面積基準」

- 0歳・1歳児のほふく室
1人当たり3.3㎡
- 2歳以上児
1人当たり1.98㎡
-

厚生労働省の委託調査(2009年)では、2歳未満児で4.11㎡、以上児で2.43㎡必要としている。

西宮市の保育所待機児は、今年四月で二七九人。毎月、待機児が増え続けています。厚生労働省はこの度、「地域主権改革」一括法に基づき「待機児童が一〇〇人以上、住宅地の公示価格の平均額が三大都市圏を上回る自治体」は、二〇一二年度から三年間、保育所の面積基準の引き

西宮市では、上表の基準はかるうじて守っているもの

基準引き下げ許さず 保育所増設こそ!

下げを条例で決めることができると、西宮市など、三十五都市を明らかにしました。西宮市のこども部の担当者も「私達も新聞を見てビックリ.....」とのこと。しかし、待機児対策に追われる市で、規制緩和策が検討される模様。



「弾力化」と称し、すべての保育所は定員を大幅に上回って子どもを受け入れていきます。西宮では、基準の引き下げを許さず、保育所を増設させることが必要です。そのために全力を尽くします。

やっぱり、言わなければ!

先日、勤労会館第8会議室を使用した際、一部エアコンが故障しており「暑い」。早速担当課に電話すると、「来年度予算で要望する.....」「この夏どうするの!」と詰め寄った。今日、担当課より電話で、「今年の予算で、できるだけ早く修理することになった」と連絡。「うーん!?ありがとう」だった。

日本共産党

上田さち子



2011.8.14号

(発行)

日本共産党市会議員
上田さち子
川添町五・十八
電・三五一二八一三

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。
ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

節電
市役所は
8月17・18日の
午後閉庁

夏真っ盛りですが、今年はみなさんのお宅でも「節電」に気をつけておられるのでは？

西宮市は、17日(水) 18日(木)の両日午後、閉庁となります。

我が家の節電は40%減

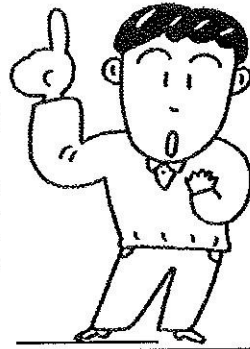
わが家の7月分の電気使用量を見てみると、昨年7月に比し、150キロワット、率にして何と40%減。テレビやウォシュレットなど待機電力つて効果抜群です。



六六回目の広島と長崎の日を迎えました。今年は一ノモア・広島・長崎・福島とアピールが。原発からの撤退を求める声も一段と強くなっています。

電所が五十四基も次々と建設されたのでしょうか？ それを追っていくと原発で利益を分かち合う「原発利益共同体」の存在が浮かび上がります。メンバーは財界や政界、官僚、御用学者、一部マスコミで、年間二兆円の原発

「原発マネーに群がる」とは？



マネーに群がるのです。

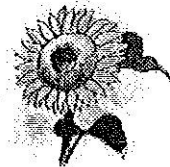
**日本経団連の中核企業が
民主党と自民党に献金**

電力各社から三菱重工や日立・東芝など原子炉メーカー、新日鉄など鉄鋼、鹿島・大林など建設、三菱商事など商社、住友化学など化学、三菱東京UFJ銀行など金融生保等にお金流れます。電力各社への官僚の天下り

**日本共産党市議団控室が
かわりました**

お気軽にお越しください

議会には各会派の控室がありますが、この度の選挙結果を受け、控室が移動。生活相談などにお越しのみならず、お部屋を間違わないように！



を筆頭に、朝日新聞等マスコミに宣伝費、「安全神話」の先頭に立った御用学者にも寄付講座として流れ、各企業からは民主・自民に献金と、共同体が出来上がるのです。原発からの撤退運動とは、原発による利益にしがみついた企業などの共同体を解体する運動に他なりません。